

きゅうしゅう

NO.51



写真：迫撃砲射撃訓練の様子
(提供：陸上自衛隊都城駐屯地広報室)



写真：霧島連山
(提供：陸上自衛隊都城駐屯地広報室)

目次 CONTENTS

1. 部隊紹介：陸上自衛隊 都城駐屯地
2. 自治体紹介：宮崎県 都城市
3. 業務紹介：宮崎防衛事務所
4. インフォメーション：岩田政務官が佐賀訪問
護衛艦の起工式
周辺対策事業担当者会議の開催



1. 部隊紹介



陸上自衛隊 都城駐屯地

駐屯地司令挨拶

駐屯地司令
要望事項

地域とともに



第29代
都城駐屯地司令兼
第43普通科連隊長
1等陸佐 中尾 圭

「きゅうしゅう」をご愛読の皆様、第43普通科連隊長兼都城駐屯地司令の中尾です。今年で駐屯地開設69周年、連隊創隊58周年を迎えることとなりました。

これもひとえに宮崎県民の皆様をはじめ、多くの諸先輩方、関係者の方々のご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

さて、国外情勢をみると様々な要因から、わが国周辺では一層厳しさが増す一方、国内においては頻発する豪雨等の自然災害や新型コロナウイルスへの対応など、備えを万全にして、即応性ある柔軟な対応が我々には求められています。

皆様の安心安全のために、いつ如何なる任務にも対応できるよう、連隊、駐屯地として日々厳しい訓練に励んでいます。

引き続き、我々の活動に対して変わらぬご理解、ご支援を賜りますよう、あらためて宜しくお願いいたします。

結びに、「きゅうしゅう」のご愛読の皆様の益々ご発展、ご健勝を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

駐屯地所在部隊紹介

第43普通科連隊

都城駐屯地の基幹部隊として宮崎県の防衛警備及び災害派遣等を任務としています。



第135地区警務隊 都城派遣隊

警護任務・交通統制・規律違反等の防止など部内秩序維持を主任務とする部隊です。



上記の部隊以外にも第3普通科直接支援中隊・第376施設中隊・第2直接支援中隊都城派遣隊・第364会計隊都城派遣隊・宮崎地方協力本部都城地域事務所などの部隊が所在しています。

都城駐屯地業務隊

駐屯地所在部隊に対する支援と駐屯地機能の維持・向上を図っています。



第319基地通信中隊 都城派遣隊

駐屯地の声の窓口です。少数部隊ですが常続不断的の通信確保に万全を期しています。



体力・戦技・通信戦技において優秀な成績により表彰をされました

駐屯地最先任上級曹長



都城駐屯地
准曹士
シンボルマーク



第6代 都城駐屯地
最先任上級曹長
准陸尉 鈴木 晴幸

皆様こんにちは、第6代・第43普通科連隊兼ねて都城駐屯地最先任上級曹長の鈴木です。

日頃は当駐屯地に対しまして県民皆様の御協力を賜り誠にありがとうございます。

私は【准曹士の育成】【指揮官の補佐】と大きく2つの役割を任務として職務に従事しています。

環境の変化に伴い自衛隊も多様な任務が要求されますが、これからも引き続き、その任務に対応すべく有事の際『真に戦える戦士』であるために隊員それぞれがマストな存在となり、日頃の訓練等を通じ各種事態に対応し得る即応態勢を堅持して参ります。結びに広報誌「きゅうしゅう」を御愛読の皆様の御発展、御健勝を念御祈念申し上げ挨拶といたします。

災害派遣



平成29年1月
鳥インフルエンザ災害派遣



平成30年7月
西日本豪雨災害派遣



令和2年7月
令和2年7月豪雨災害派遣

駐屯地は県内外の豪雨等災害、鳥インフルエンザ対処などの災害派遣に従事しています

地域との交流



駐屯地創立記念行事



たかお夏祭り



夏休みちびっ子大会



音楽演奏支援

駐屯地では、駐屯地創立記念行事、鷹尾地区商工振興会と共催した「たかお夏祭り」で地域と共に地域活性化を図り、夏休み期間中には小学生高学年を対象とした野外での活動及び集団生活を体験する「夏休みちびっ子大会」などを行っています。また県内各防災訓練、防災イベント等に参加し、防災訓練等を行うとともに防災意識の高揚に努めています。又都城駐屯地音楽部は、県内外の演奏支援を行い各種行事に花を添えております。

郷土館



展示室



昭和10年天皇陛下が親兵式を御視察された時の全体写真が展示されています。

この郷土館は、明治43年の旧歩兵64聯隊が都城に移駐時に建設され、大正14年旧歩兵第23聯隊の聯隊本部であり、その後各移駐部隊が使用し昭和39年より郷土館(資料館)として現在に至ります。展示物は有志の方々から寄贈された物を主に展示しており事前に連絡頂ければ見学できます。(見学については各制限がございますので詳しくは下記まで連絡ください)

郷土館見学に併せて隊員食堂で食事しませんか?



昼食限定です。

松元技官(栄養士)

注: 献立写真はイメージです

- 有料で事前の申し込みが必要です。
- 訓練等の都合によりお断りする場合がございます。
- 感染症対策に取り組んでおります。

○詳しくはお問い合わせ下さい

郷土館見学等のお問い合わせ先

☎ 0986-23-3944 広報室まで



都城駐屯地は各種訓練等をTwitter及びFacebookで随時発信しています。下記のQRコードまたは「陸上自衛隊都城駐屯地」で検索してください!皆さまからの「いいね!」待ってます。

都城駐屯地 Twitter



<http://mobile.twitter.com/campmiyakonojo/>



都城駐屯地 Facebook



<http://m.facebook/camp.miyakonojo/>



2. 自治体紹介（宮崎県都城市）

都城市は、南九州圏域における産業・経済・医療・教育・文化の中心都市として発展。日本有数の生産量を誇る畜産を中心とした「農林畜産業」、陸・海・空からのアクセスに優れた南九州の物流拠点としての「地の利」、人間力にあふれる「次世代を担う子どもたち」という3つの宝を持ち、これらを輝かせるさまざまな取り組みを推進しています。



都城市立図書館

平成30年には、市立図書館や子育て支援施設など、多機能を集約した拠点施設・Mallmallを整備。商業施設をリノベーションしたこの施設は、全国から注目を集めています。

また、対外的 PR にも注力。ふるさと納税を対外的PRツールとして活用し、返礼品を肉と焼酎に特化したことで、「肉と焼酎といえば都城」が定着。平成27年度・平成28年度にふるさと納税の寄附件数、寄附金額が日本一となりました。その後も、実績は全国上位にあり、令和元年度は、寄附件数全国1位（日本一）、寄附金額全国2位（実質日本一）となりました。

さらに、当市が誇る「肉と焼酎」をテーマに、肉マップの作成や本物の「肉と焼酎」に出会えるミートツーリズムをスタート。「肉と焼酎のふるさと・都城」の魅力を対外的に発信しています。「肉と焼酎のふるさと・都城」で日本一の肉と焼酎を、ぜひ、体験ください。



【肉マップ】

基地との関わり

当市に所在する陸上自衛隊都城駐屯地は、創立記念行事や夏まつりなど、さまざまな行事を通じて市民との交流の場を提供されています。また、当市と連携して、総合防災訓練や消防出初式での訓練参加や車両・資器材の展示、炊き出しを行うことによって、自衛隊に対する市民の理解や関心もより高まっています。

南海トラフ巨大地震などの大規模災害時に、被災地を後方から支援する「後方支援拠点都市」を目指す当市としても、災害に強いまちづくりを目指すために、今後もさらに都城駐屯地との連携強化を図っていきます。

都城市ふるさと納税 日本一の「肉と焼酎」



とっておきの
お礼の品を
ご用意しています。



「都城市ふるさと納税特設サイト」から申し込みください。

※都城市は、肉用牛・豚・鶏の合計産出額が市区町村別で
日本一、焼酎売上高全国1位の酒造メーカーがあります



3. 業務紹介

宮崎防衛事務所の業務紹介

宮崎防衛事務所は、宮崎県宮崎市に所在する九州防衛局熊本防衛支局の出先機関で宮崎県を管轄区域としております。管轄区域には新田原基地、霧島演習場、都城駐屯地、えびの駐屯地、高畑山分屯基地及び、えびの送信所などの防衛施設が所在しております。

主な業務は、これらの防衛施設の円滑なる運用、各種訓練の実施にあたり、関係地方自治体及び地域住民等との連絡調整及び交渉に係る業務支援、九州防衛局が執り行う周辺環境整備事業、漁業・農業等に係る損失補償業務の支援及び、防衛白書説明などの協力確保事務の支援に少数精鋭で従事しております。

当事務所は、5名体制と少数ですが、地元に着した対応を心がけ業務を行っています。宮崎防衛事務所は昭和62年熊本防衛施設支局宮崎出張所として開設され、その後宮崎防衛施設事務所と名称変更し、平成19年防衛施設庁の防衛本省への統合により現在の宮崎防衛事務所となりました。その後、平成28年12月に国の庁舎等の使用調整等に関する特別措置法に基づき、宮崎地方法務局分室（宮崎市江平）に移転しました。

また、当事務所管内では、今年度、航空自衛隊新田原基地での米軍の緊急時使用に係る施設整備が始まる予定です。何よりも地域に着した事務所として関係地方自治体等とのパイプ役として、職員一丸となって業務に取り組んで参る所存です。



執務室内での様子



施設発生材の現場確認



少数精鋭で頑張ってます！！

4. インフォメーション

岩田防衛大臣政務官が佐賀県有明海漁協、佐賀県庁を訪問

令和2年6月19日(金)、岩田和親防衛大臣政務官が、陸上自衛隊のティルト・ローター機の佐賀空港への配備計画の関係で佐賀県有明海漁業協同組合の徳永組合長等を訪問し、昨年9月から行った有明海漁協各支所への説明の機会を頂いたことなどについて謝意などを伝えました。

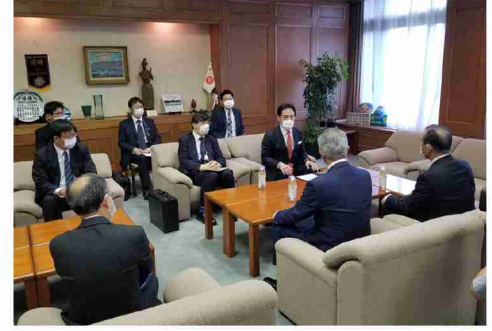
その後、岩田政務官は、佐賀県庁を訪問し、山口祥義佐賀県知事、桃崎峰人佐賀県議会議長とそれぞれ面会しました。



▲佐賀県有明海漁業協同組合を訪問



▲山口佐賀県知事(手前右側)を訪問



▲桃崎佐賀県議会議長(手前右奥)を訪問

令和元年度計画護衛艦の起工式を実施

令和2年7月15日(水)、三菱重工業長崎造船所において、令和元年度計画護衛艦(以下「O1FFM」という。)の起工式が行われ、式典には、佐世保地方総監(中尾海将)、佐世保造修補給所長(佐々木1佐)、長崎防衛支局長(二又事務官)以下支局員、そして三菱重工の関係者が出席しました。

O1FFMは、新型護衛艦の3番艦、4番艦として建造され、基準排水量3900t、長さ132.5m、幅16.3m、深さ9mで、現在三菱重工業長崎造船所で建造中の1番艦、三井E&S造船玉野艦船工場で建造中の2番艦とぎ装統一を図ったコンパクト且つ多機能な艦艇です。

起工式では、地元長崎の「諏訪神社」の宮司によって神事が行われ、工事と艦艇の安全が祈念されました。式典中の「起工の儀」において、佐世保地方総監と長崎防衛支局長による艦底部分の板材及び記念プレートへのサインを施した後、建造工事が開始される溶接スイッチを押下。三菱重工業長崎造船所の工員の溶接機械が作動しました。なお、今回の起工式はコロナ禍に伴い式典の映像を三菱重工業横浜製作所に伝送し、自衛隊関係者が視察をする初めてのリモート起工式を試み、参加者から好意的な意見がありました。

なお、3番艦は令和3年1月からドック内でブロック搭載、6月頃に進水し、令和4年12月頃に引渡。4番艦も同様に令和5年3月頃に引渡となる予定です。



▲O1FFM 起工式での集合写真



▲溶接開始(起工の儀)



▲リモート起工式(三菱重工業横浜製作所)の様子

防衛施設周辺対策事業担当者会議の開催

令和2年7月22日（水）福岡第2合同庁舎において、防衛施設周辺地域の生活環境等を整備することを目的とした事業（いわゆる周辺環境整備事業）に関係する地方自治体担当者との会議を開催しました。

本会議は、これらの事業に関する法律（「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」及び「駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法」）等による制度の内容や具体的な事例を交えつつ、説明することにより、今後の補助金の適正な運用及び補助金業務の一層の効率的かつ円滑な推進を図ることを目的として開催しました。

本会議は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から出席者の間隔を十分に空けるなどの措置を講じた上で、開催し、午前中、まず始めに井上周辺環境整備課長による開会の挨拶の後、周辺環境整備課及び防音対策課の担当者からそれぞれ説明を行う形で進行し、最後に小川防音対策課長による午前の部の閉会の挨拶を行いました。

午後からも出席者を入替え、周辺環境整備課の担当者による説明を実施し、参加者は熱心に聞き入っていました。

本会議は、午前と午後を合わせて、防衛施設周辺の32の地方自治体の担当者37名が参加し、実り多いものとなりました。



▲井上周辺環境整備課長による挨拶



▲会議の様子



▲説明を行う当局職員



▲小川防音対策課長による挨拶

人事異動

8月1日及び5日付けの人事異動により新たな方々が着任されました。



管理部長 **山下 忠司**

この度、管理部長を拝命致しました山下忠司（やましたただし）と申します。
平素から防衛省・自衛隊に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
九州防衛局の広範な管轄区域には、我が国の安全保障にとって極めて重要な防衛施設が多数所在しており、安定的に運用できますように、施設補償、施設管理、施設取得等の各分野におきまして、皆様のお声を大切に誠心誠意努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



長崎防衛支局長 **三原 祐和**

8月5日付で長崎防衛支局長を拝命致しました三原です。
当支局は、九州地区を中心に艦艇、魚雷等の装備品及び弾火薬類等の調達にかかる監督・検査、原価監査などを担任しており、品質・安全・納期をスローガンに活動しております。
高品質の装備品を着実に調達できるよう、支局一丸となって努力してまいります。
宜しくお願ひ致します。



防衛補佐官 1等陸佐 **村岡 史朗**

8月1日付で防衛補佐官を拝命しました村岡1佐です。
我が国の安全保障にとって極めて重要な地域と役割を有する九州防衛局で勤務できることは、大変光栄かつ重責であり、当に身の引き締まる思いであります。
防衛補佐官として防衛局と自衛隊部隊等との架け橋となり、地域の皆様方のご理解とご協力が得られるよう、微力ながら専心職務にまい進する所存でございますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話：(092)483-8832 FAX：(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、
休日は終日。